

令和3年合格者体験記

2020年度修了（既修コース）小山 真理子

法曹を志した学部3年生から合格するまで約5年。早い段階で予備抜けして合格を掴む器用な人に比べれば随分と時間がかかったように感じます。ですが、不器用な自分には必要な時間だったのだと今なら言えます。

思えば、学部時代は法学そのものが分からず、その作法や輪郭を掴む作業で手一杯でした。

そして、仮面未修の状態ですぐに既修に入り、基礎のない状態で難しい演習問題に取り組み、自分なりに基礎を積み上げるのにかなり時間がかかりました。実は、本当の意味で基礎を理解し、自分の納得できるほどあてはめを綺麗にできるようになったのは本試験の1か月前です。5年間の学修の成果が目に見えて分かったのはこの時です。ですから、皆さんも何があっても諦めてほしくないなと思います。

ところで、私は今回が初めての本試験でしたが、全く緊張することなく4日間楽しく受験することができました。初見の論文試験を解くのが楽しくて、論文試験の最終日には（このままずっと論文試験を解いていたいな♪）と思うほどでした。

なぜ私が緊張せずにいられたか。それは『一人で戦っているわけじゃない』と思えたからです。夢を追いかける自由を与えてくれた両親がいて、一緒に勉強しよう！と誘ってくれる同期や先輩がいて、答案を添削してくださる先生がいらして、返却される答案にあたたかいお手紙を添えて下さるスタッフの方がいらして、遠方にも関わらず熱心にゼミで指導して下さる先輩がいらして、これだけ恵まれた環境にいるのだから、絶対に悔いの残らないよう、やれることはすべてやろうと、あとは教えられた通りに精一杯努力するだけでした。自分の努力以上に、周りの方々のおかげで平常心でいられたのが一番の勝因だったと思います。

ところで、他のローに行った友人と最近話す機会がありまして、岡大ローがいかに私にとって居心地が良く、勉強しやすい環境だったかがよく分かりました。こんなに手厚いフォローがあるロースクールは他にないと思います。

岡大ローは、皆さんが苦しい思いをしている時に絶対に誰かが手を差し伸べてくれる環境です。周りの人達を信じて自分のすべき努力を積み、必ず合格を勝ち取れるよう祈っています。頑張ってください。